

貧酸素水塊速報 (2014年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
 ○ 神奈川県水産技術センター 内湾底びき網研究会連合会
 【協力】 千葉県環境研究センター ○ 東京都環境局
 第三管区海上保安本部 (独)国立環境研究所
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

平成26年8月25～26日観測結果

貧酸素水塊は市原沖から内湾中央部にかけての広い範囲に分布しており、溶存酸素量が1.0mL/L以下の海域も広がっています(図1)。

一方、湾奥部の底層溶存酸素量は比較的高いですが、今後北風が吹くと、貧酸素水塊が湾奥部へ波及する可能性があります。

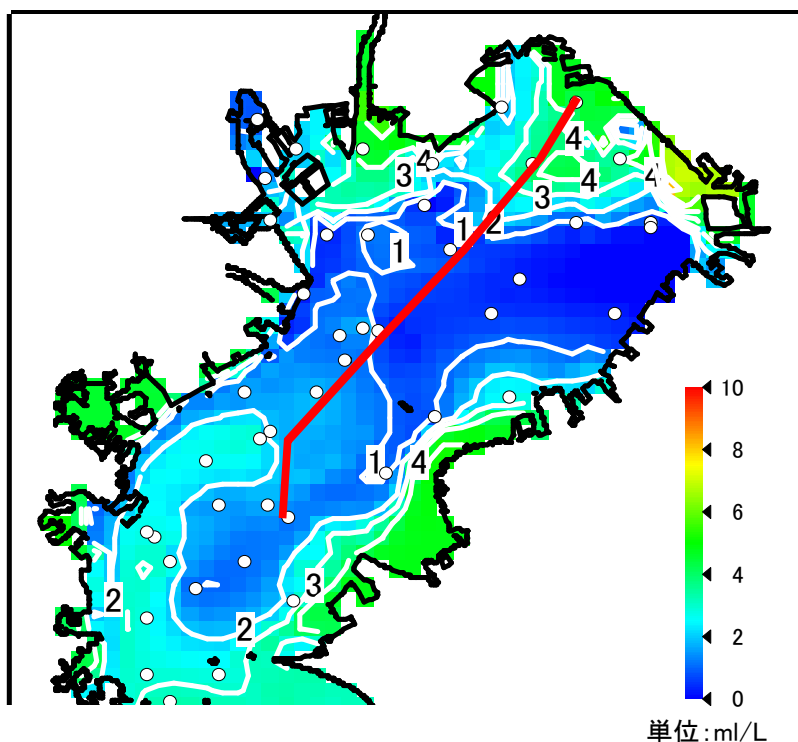


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

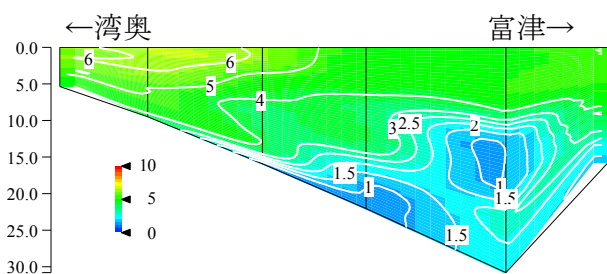


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

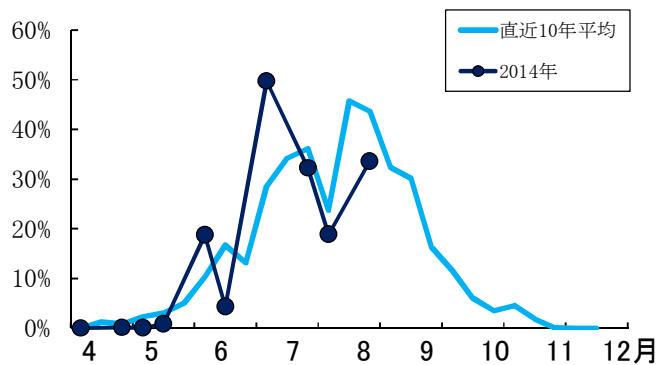


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)